

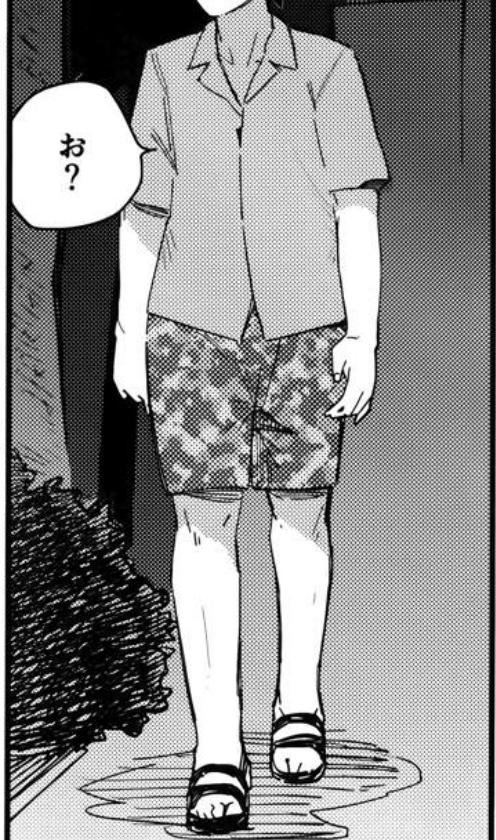
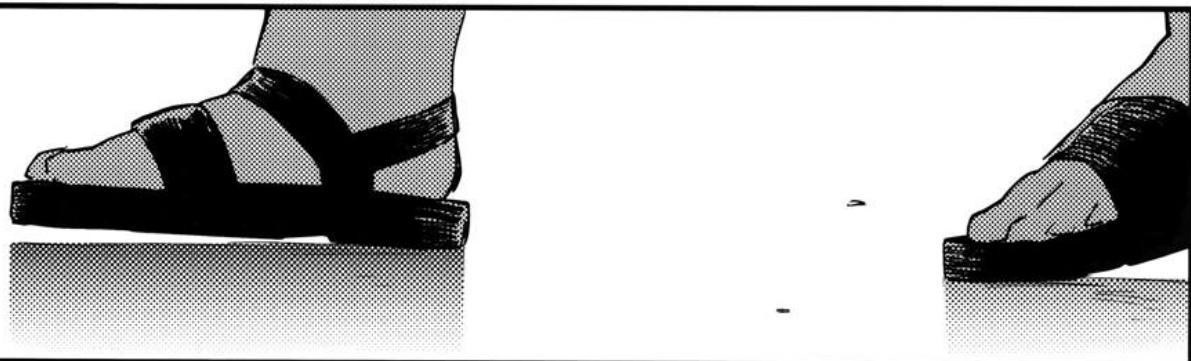
メルトが
かんじないホン
サルバチョ

R18



サルバッソ

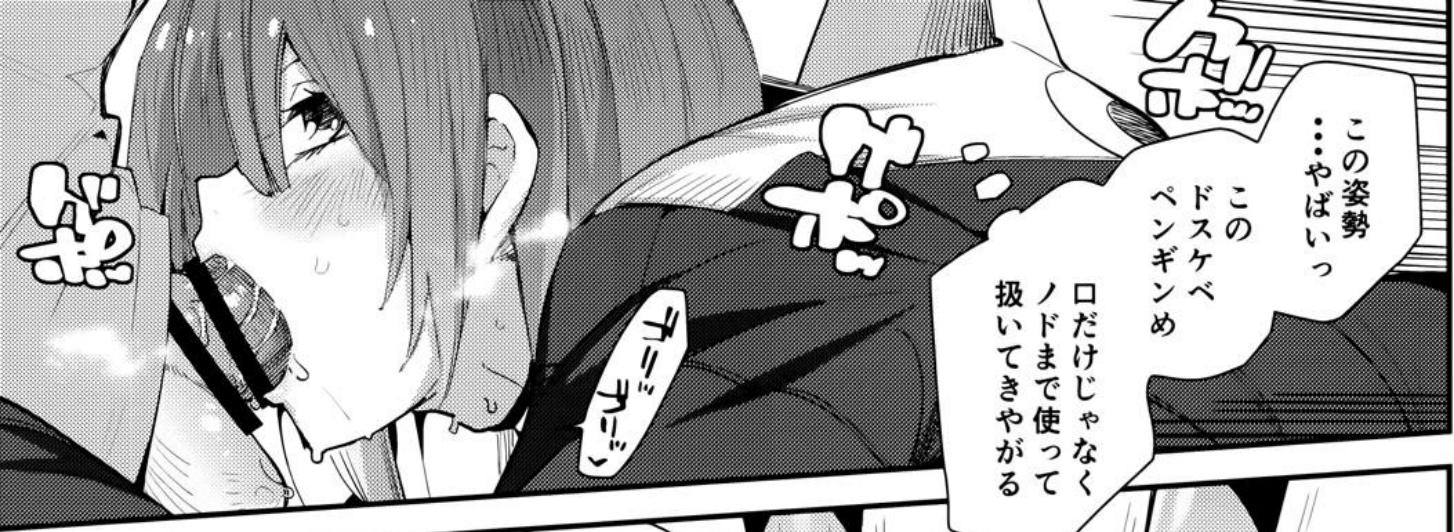
ラスベガス 早朝







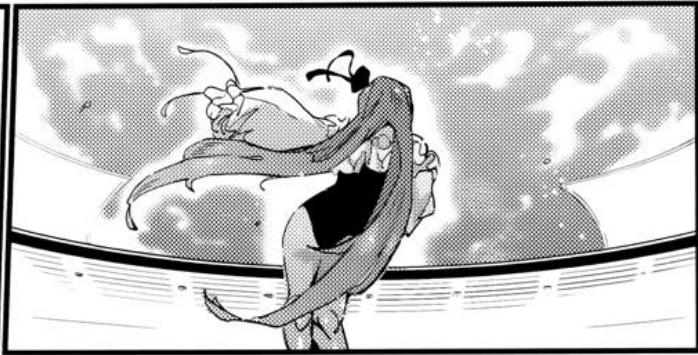






全て
私の体内に
射精したい
でしょ?

どうせなら
……



こんな日こそ
私のステージを
観に来るべき
ではなくて?

まったく
だめな男ね

(10
玉)



みんな
大衆の中で
勃起が
おさまらなく
なつたら
まずいでしょ

果てちゃう
かもつて
くらいにね

クライマックスで
あなたの姿なんて
見つけて
しまつたら

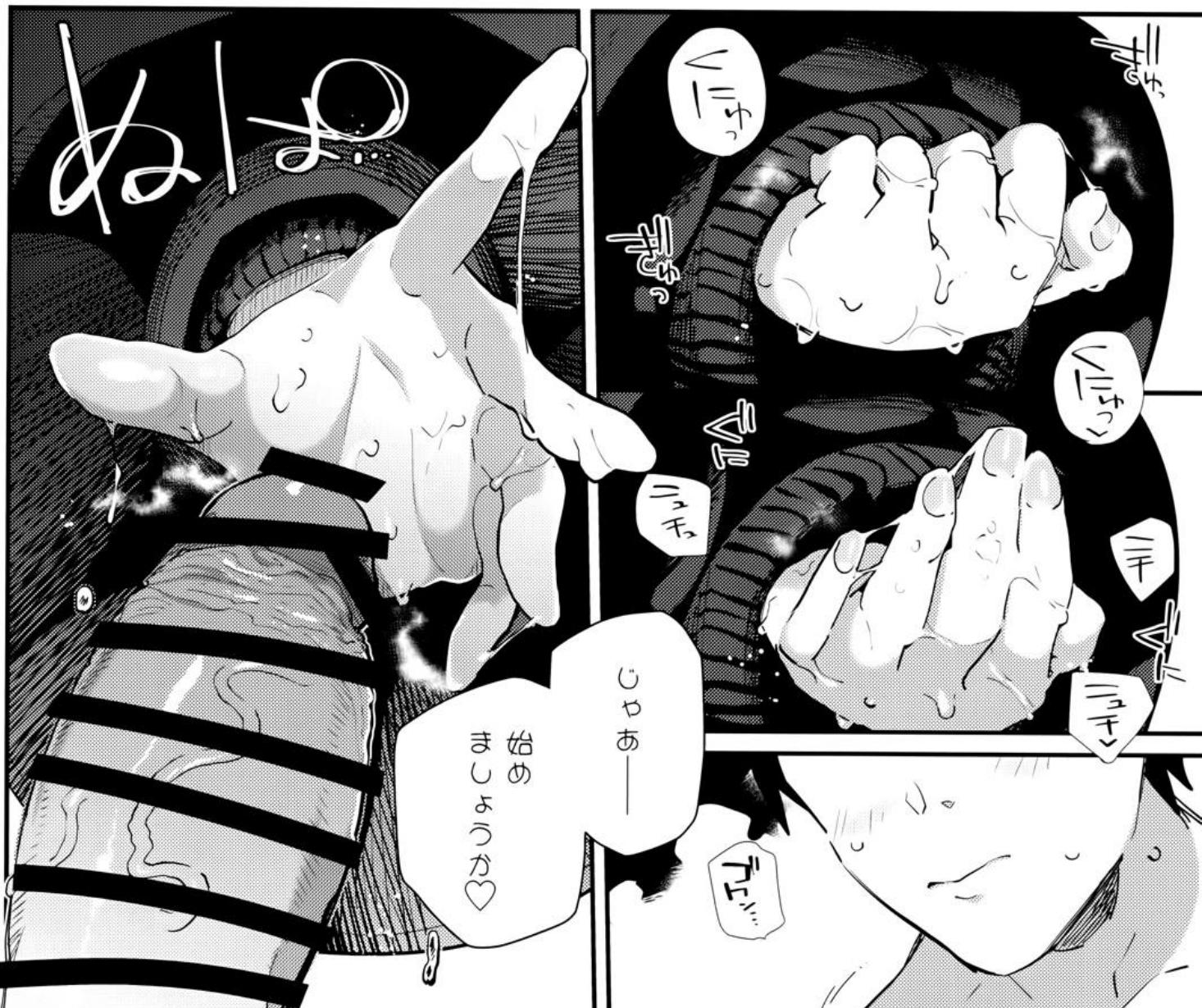
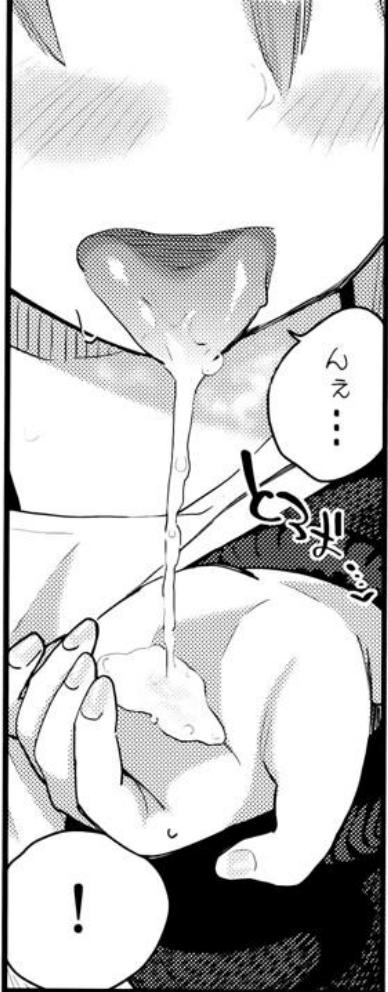
(10
玉)

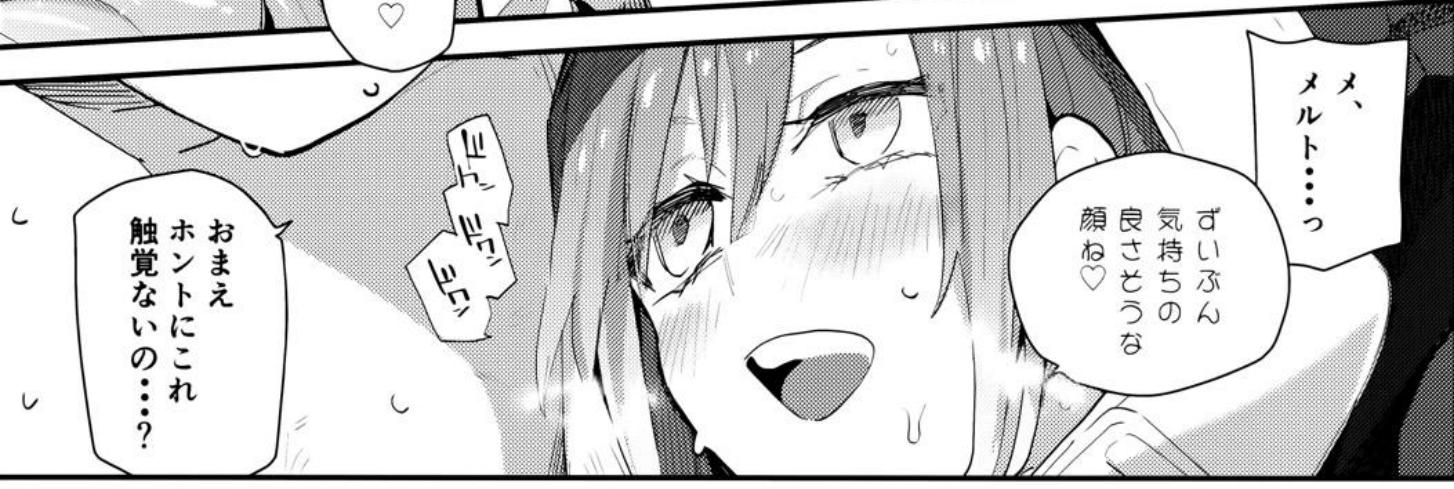


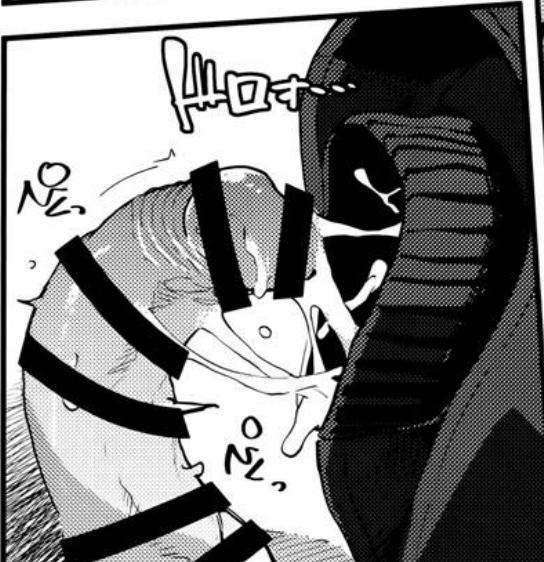
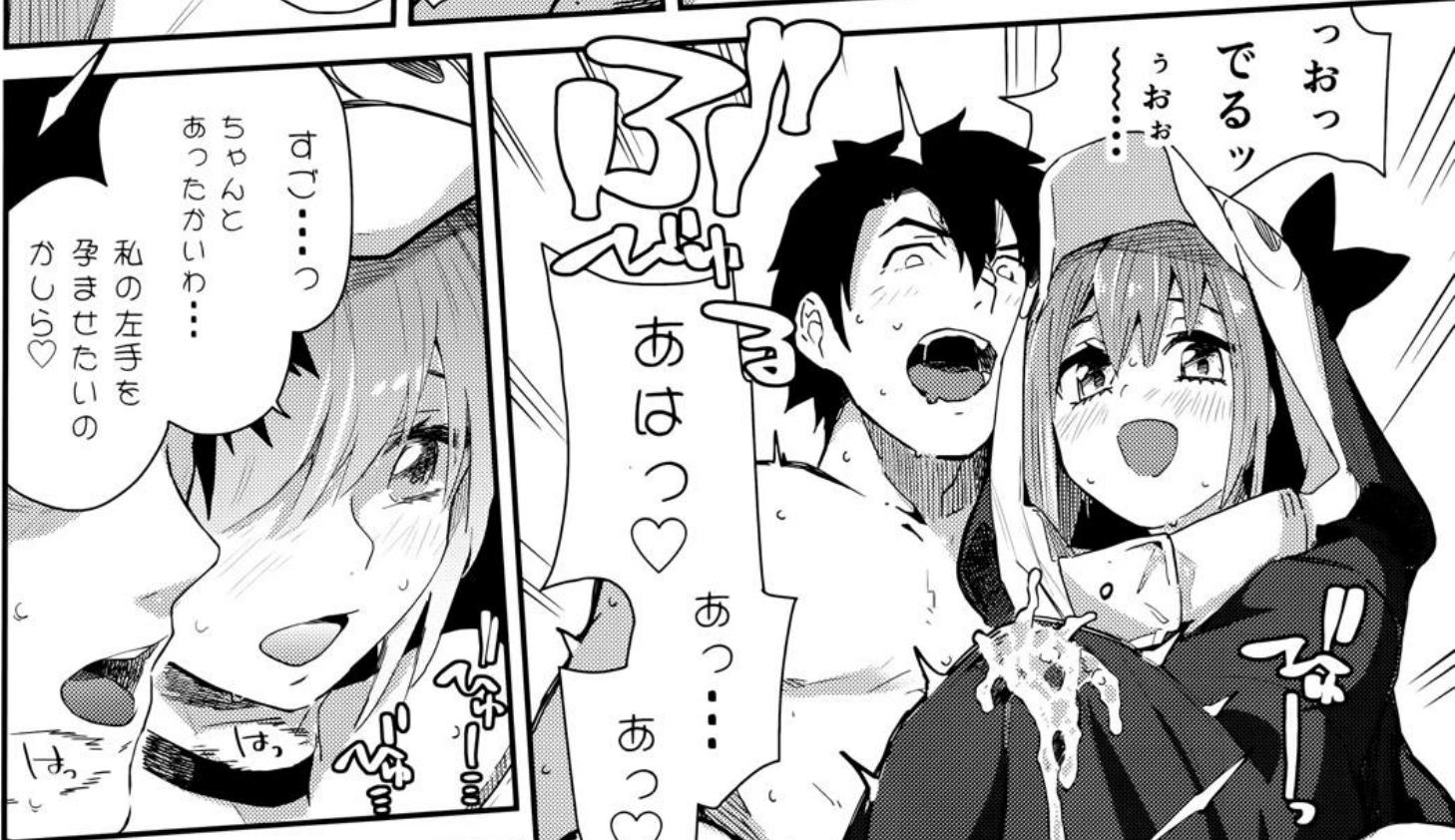
それもそうね
ええ私も
今日はとても
昂つたもの

(10
玉)





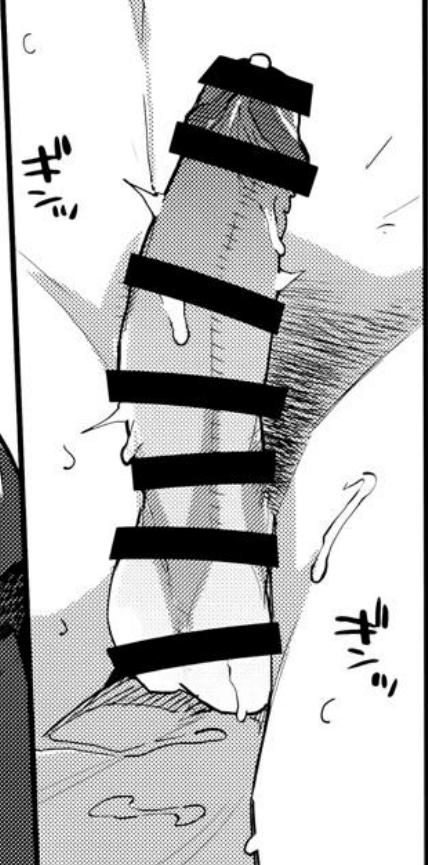






いま射精した
ばつかりなのに
まるで
もう忘れましたと
言わんばかりの
勢ち様ね

あ







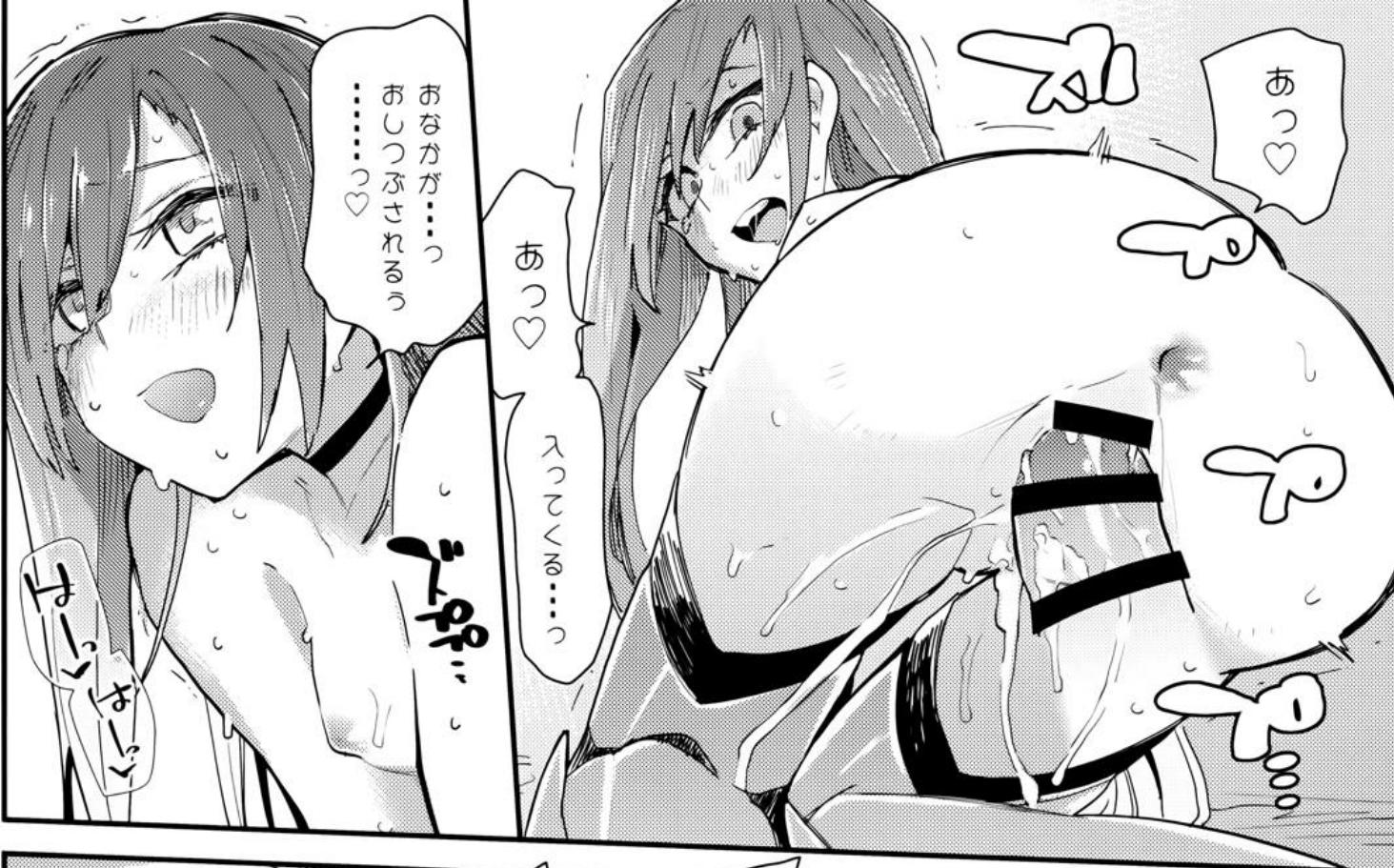




私の膣内に
あなたの
おちんちんが







あつ♥

入つてくの…つ

あつ♥



いいわ…つ

遅しくて素敵…

はつ♥はあつ

すりあ…♥

キテ…つ

私の膣内に

でるつ

いくよ
メルト…ツ



人気 1時間半よくわ
ほんとうに
すみません! た。



あとがき

この本を手にとっていただき、ありがとうございます。どうも、わいらです。

10作目の本になります。ご容赦ください!
今回は「メルトが○○シリーズ」の第四弾です。水着メルトです。
水着メルト…ついに出たんですね…。やったぜ。

本文についてですが、今回あまりにも時間なさすぎて半分諦めました。
本文いっさい手をつけてないのに異聞帶ちぢくるから無理があるよな。
周りに助けてもらいまくってようやく形になりました。
ほんとにありがとうございました。

でも今回の感想は感じないメルトフェチ(?)的にぜひ世に出したかった本だったので、
どうにかここまでこぎつけられて本当によかったです。
というわけでかんじないホンでしたが、実際挿入ってる感覚って直接わからなくとも
こんな風に擬似的に体感できると思います。
完全流体でもヒトの形をとっている以上は押し込まれる容積分、体内のスペースは
やっぱり圧迫されるので。そこは身体の強靭なサーヴァントでも一緒でしょう。
それもメルトの小さな身体なのでなおさらだと思います。可愛い!

次は分厚~い本だしてえよなあ。
メルトのキャラクターの性質上、挿入シーン以外がどうしても膨らんでしまうので、
今度は誰か思いっきりずぼずぼするところ描きたいね。

ではでは~。